

議員報酬・定数について

	各 会 派 か ら の 提 案
とよかわ未来	<p>【議員報酬】 会派内全員で意見交換を行い、様々な意見が出た。全員一致とはならず、今後 も意見調整を行っていく必要がある。 現状維持の意見も多くあったが、その根拠としては特別職報酬等審議会の答申 を尊重すべきという意見が多くあった。審議会の審議内容については、議員の活 動状況や本市の財政状況、社会情勢の見通し、人事院勧告の状況、他市比較等、 様々な観点からの分析がされており、その内容は妥当であると評価できる。 その他の根拠としては、地方分権の時代に入り、地方議員の仕事は質、量とも に増えていく傾向にあり、住民ニーズ、地元要望にもしっかりと対応していくに は、議員力を向上させていく必要があり、その活動に見合う報酬が求められるべ きであるという意見もあった。</p> <p>【定数】 定数についても会派内、様々な意見があり、今後さらに意見交換を行い、論点 を深めていく必要がある。 定数削減という意見は少数で、定数維持（30名）が大半であったが、その根拠 の主なものは、1市4町の合併完結後4年目で日が浅く、本当の意味で新市一体 化とは言いがたく、各地域性を重視すべきという意見や、小学校区代表プラス政 策という観点や常任委員会の運営面からなど様々な意見が出た。</p>
緑 風 会	<p>【議員報酬】 【定数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3年前、我々は議員報酬の25%削減を主張しました。 ・ この主張は議会内で多数の賛同を得ることができず、今に至っています。 ・ しかし、市の財政健全化と議員としてそれに取り組むことの必要性については ほとんどの議員の賛同が得られるものと考えます。 ・ また、この3年で国内の経済情勢が大きく変化し、デフレからの脱却の道筋が 見えつつある状況となってきています。 ・ したがって、中身のある改革を推進するために我々の25%削減の主張をいった ん取り下げ、定数削減と併せて議会費の市議会議員報酬等をどのくらい削減する ことが妥当かを議論していきたいと考えます。 ・ これからの議会改革研究会での議論は、18万人の豊川市にとって市議会議員の 定数と報酬はどのくらいが妥当なのかを市民に説明できる形で結論づける事が必 要と考えます。 ・ 具体的な定数削減と報酬削減の値については、研究会の中のこれからの議論の 中で求めていきたいと考えます。
自 民 党 豊 川 市 議 団	<p>【議員報酬】 報酬審議会の答申を尊重すべきと考える。</p> <p>【定数】 前回の合併（市域の拡大、人口増）により2名増を行った。合併の合理性とあ わせ、慎重に討議すべきと考える。</p>

議員報酬・定数について

	各 会 派 か ら の 提 案
公明党市議団	<p>【議員報酬】 【定数】 現状のままでよい。</p>
日本共産党 豊川市議団	<p>【議員報酬】 議員報酬の据え置きを提案します。 そもそも議員報酬は、財産のない人でも安定的に議員活動ができるように保障するもので、地方自治法で支給することが定められています（地方自治法第203条第1項）。 現在の豊川市議会議員報酬は、月額47万9,000円です。平成26年1月16日に答申された「豊川市特別職報酬等審議会」の審議経過では、「報酬等の額は、県内各市との比較では、決して低い水準ではないが、豊川市の市域、人口の拡大とともに、特別職の職責、仕事量は大きなものとなっている」と述べ、「財政が許す限りは、その職務と責任に見合う報酬等が求められる」とあります。答申は、私たち日本共産党豊川市議団の活動と実感に合致するものです。 議員報酬の公正な評価は、金額ではなく、議員がいかに市民の声を議会に届けるか、市民の生活と安全の向上のために汗を流すかどうか、だと考えています。 また、答申に「活動に見合う報酬により、優秀な人材が市議会議員となり、市制を担うことが、市の発展につながる」とありますが、日本共産党豊川市議団も、議会のみならず会期外（土、日、祝日）の活動も多く、ビラや議会報告（印刷代）、通信費（電話代）、宣伝行動（ガソリン代）などを報酬内で支払っており、活動すればするほど貧する傾向にあります。こういうことになっては議員を目指す優秀な人材が現れなくなる危惧もあり、今回の提案をしたいと思えます。</p> <p>【定数】 定数削減はせず、改正前の地方自治法第91条第2項第7号に基づき、定数34名を提案します。 そもそも地方議会は市民の最も身近な議会であり、市民の声を行政に反映する市民の代表機関です。いろいろな考え方、より多くの意見を豊川市政に反映させることが喫緊の課題であり、そのためには定数削減ではなく定数を増やし、選出された議員が議会を活性化させることこそ、有権者の思いに応えることになると思います。 行財政改革の観点から議員定数削減の声がありますが、本末転倒だと思えます。議員を削減すればするほど行政機関を監視し、市民の声を届ける役割が後退することになります。また、議員数の削減による経費節減は一般会計予算に対する割合で言えば影響を与える額になるとは思われません。</p>

議員報酬・定数について

	各 会 派 か ら の 提 案																																						
一人会派 (清廉の志)	<p>【議員報酬】 フランスなどの地方自治体（コミューン）における議員定数は日本の数倍程度多いが、ボランティアに近い存在である。 結局、財政規模（歳入）に対してどれくらいの負担を議会にかけても良いかというところに落ち着く。 報酬削減について先回まとまらなかったことを踏まえ、定数による一定の議会費削減を求めたい。</p> <p>【定数】 行政の役割は、多岐にわたるようになり、深い知識が求められるようになっており、それぞれの専門性を活かしつつ、チェック機能が低下しないよう一定の議員定数は必要である。 一方で、直接民主主義的権利（議会・市長の解任請求、条例の制定改廃請求、事務の監査請求など）が保障、あるいは拡充（行政の見える化、パブコメ、常設型住民投票制度など）されていく時代にあつては、必ずしも議会が大きくなって良いと考えられる。 具体的な数字については今後検討されたいが、愛知県内で人口規模・財政規模のほぼ同じ安城市は定数30名と同じである一方、議員報酬は46万3,000円で本市より少ない。 更に、財政力指数（2012年）は安城市が1.13、豊川市が0.87と大きな差がある。（ただ、面積については、豊川市は安城市の約2倍である） これらを加味して、30名よりも若干引き下げるべきではないかと考える。（各常任委員会に7名と考え、28名に削減しても良いのではないか。）</p> <p><参考>平成25年の状況</p> <table border="0"> <tr> <td>・ 議長</td> <td>安城市</td> <td>555,000円</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>豊川市</td> <td>562,000円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 副議長</td> <td>安城市</td> <td>514,000円</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>豊川市</td> <td>512,000円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 議員</td> <td>安城市</td> <td>463,000円</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>豊川市</td> <td>479,000円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 議会費（平成25年度予算）</td> <td></td> <td></td> <td>・ 平成24年度歳入決算額</td> </tr> <tr> <td></td> <td>安城市</td> <td>414,616,000円</td> <td>安城市</td> <td>61,802,000,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>豊川市</td> <td>444,569,000円</td> <td>豊川市</td> <td>61,851,000,000円</td> </tr> </table>	・ 議長	安城市	555,000円			豊川市	562,000円		・ 副議長	安城市	514,000円			豊川市	512,000円		・ 議員	安城市	463,000円			豊川市	479,000円		・ 議会費（平成25年度予算）			・ 平成24年度歳入決算額		安城市	414,616,000円	安城市	61,802,000,000円		豊川市	444,569,000円	豊川市	61,851,000,000円
・ 議長	安城市	555,000円																																					
	豊川市	562,000円																																					
・ 副議長	安城市	514,000円																																					
	豊川市	512,000円																																					
・ 議員	安城市	463,000円																																					
	豊川市	479,000円																																					
・ 議会費（平成25年度予算）			・ 平成24年度歳入決算額																																				
	安城市	414,616,000円	安城市	61,802,000,000円																																			
	豊川市	444,569,000円	豊川市	61,851,000,000円																																			